



# やちまたゼロカーボンシティ宣言

～二酸化炭素の排出量を2050年までに実質ゼロに～

近年、平均気温の上昇や海面水位の上昇等の地球温暖化が叫ばれており、これに伴う気候変動によって毎年のように豪雨災害など大規模な気象災害が発生し甚大化しています。

世界の平均気温は、産業革命前(1850～1900年)に比べ、2010年代(2010～2019年)は1.07℃上昇しました。その大きな要因は経済活動に伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量増加であり、このままでは気温上昇により、私たちの生活や企業活動に多大な影響を及ぼすことが推測されます。

2015年12月パリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」ことが目的として掲げられ、先進国・途上国を問わず温室効果ガス排出削減に向けた取り組みが求められています。

我が国においても、2020年10月、「温室効果ガスの排出量を2050年に実質ゼロにする」カーボンニュートラルが新たな目標とされ、脱炭素社会、循環経済、分散型社会への移行と社会全体の行動変容が強く推進されています。

八街市においても、八街市総合計画に掲げるまちづくりの基本理念に基づき、市民、事業者、行政の協働により、二酸化炭素の排出量を2050年に実質ゼロにする『やちまたゼロカーボンシティ』の実現に向けて、全力で取り組むことをここに宣言します。

2024年(令和6年)8月28日

八街市長

と 田 中 伸 二

